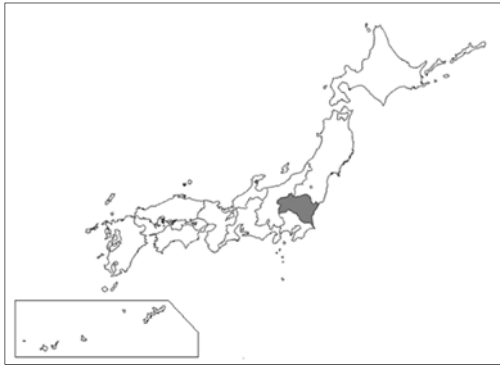


### (3) 北 関 東



北関東地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・ 鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す ( \_ は上方に変更、 \_ は下方に変更)。

#### 前回からの主要変更点

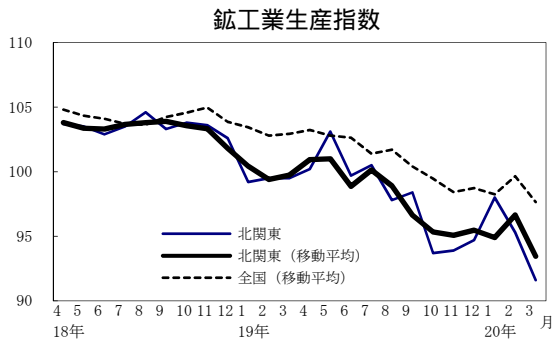
	前回 (令和2年3月)	今回 (令和2年5月)
景況判断	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある
鉱工業生産	弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している
個人消費	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している
雇用情勢	改善	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している

#### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

1-3月期には、「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「輸送機械」は、増加した。

「汎・生産・業務用機械」は、増加した。「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北関東の最新月は速報値。  
 2. 全国及び北関東の大線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。  
 3. 北関東は内閣府にて算出。

#### 域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値ウェイト	生産				
		10-12月期	1-3月期	1月	2月	3月
石油・石炭、化学、プラ製品	20.1	▲2.1	▲2.3	▲0.5	1.4	▲7.9
輸送機械	18.3	▲10.2	5.0	11.3	▲6.1	▲3.1
汎・生産・業務用機械	17.1	▲6.3	0.8	5.3	▲9.3	▲10.1
食料品・たばこ	12.1	▲1.9	—	1.6	1.2	—
電子デバ、電気・情報通信	11.2	▲2.5	▲1.5	▲1.4	▲4.8	7.1
鉱工業	100.0	▲4.9	0.9	3.5	▲2.8	▲3.9

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。  
 2. 1-3月期、3月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。  
 3. 業種は内閣府にて分類。

## 2. 個人消費の動向

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

### (1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.0%減、2月は同0.8%減、3月は同0.9%減となった。

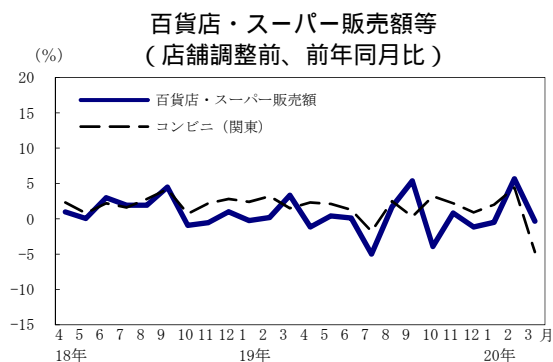
### (2) 百貨店・スーパー販売額

1月は、衣料品、飲食料品が減少したことにより、前年を下回った。

2月は、飲食料品、家庭用品等が増加したことにより、前年を上回った。

3月は、衣料品、身の回り品等が減少したことにより、前年を下回った。

4月は、休業や営業時間の短縮を実施した店舗がみられた。



	2020年1-3月	2020年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	▲0.5	▲0.0	▲0.8	▲0.9
百貨店・スーパー(*2)	1.4	▲0.5	5.7	▲0.3
コンビニ(*3)	0.4	2.0	4.4	▲4.7
乗用車(*4)	▲8.6	▲12.4	▲8.1	▲6.3
(季節調整値)(*4)	2.4	▲3.2	4.7	▲1.4

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比

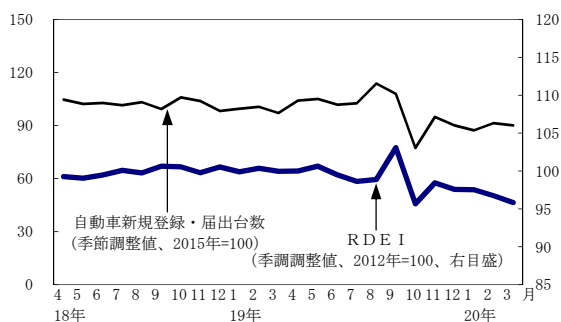
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出回数(上段は前年同期(月)比(%)

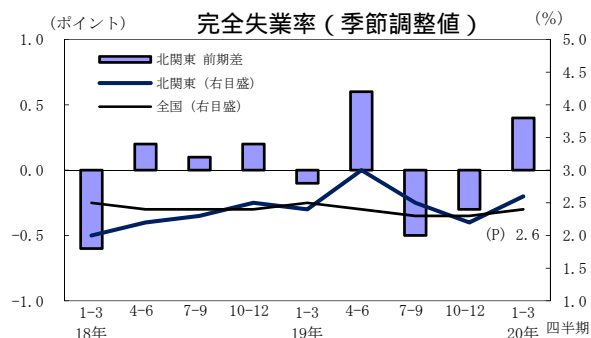
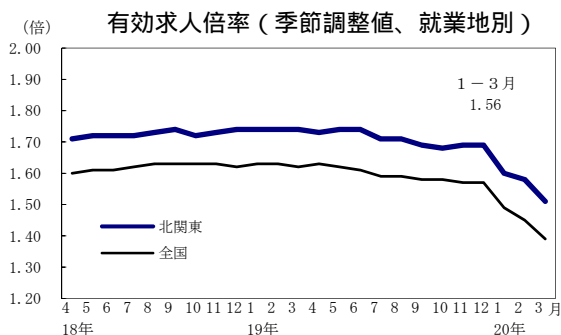
### RDEI (消費)と自動車新規登録・届出回数



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 内閣府にて算出、季節調整。季節性が認められなかったことから原数値と同じ。

(13) 景気ウォッチャー調査（令和2年4月調査）景気判断理由の概要

3. 北関東

（ 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪）

	分野	判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で、来客数、売上共に激減している（一般レストラン）。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で外出制限もあり、客は全く動いていない（住宅販売会社）。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で売上は増えているが、一時的な売上増である（スーパー）。</li> </ul>
	企業 動向 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車組立のラインストップに伴い、当社の量産ラインも止めている状況である（一般機械器具製造業）。</li> <li>・現状、新型コロナウイルスの影響も特段なく、事業を行うことができている、変わりない（建設業）。</li> <li>・受注量、販売量の動き、競争相手の様子等が若干落ちている（輸送用機械器具製造業）。</li> </ul>
	雇用 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数が前年比5か月連続でマイナスが続いている。新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛などの影響により、来客数や仕事量が減少したためとみている（職業安定所）。</li> <li>・このところ新型コロナウイルスの影響で、仕事が安定せず、残業も少なくなり、非常に悪い（人材派遣会社）。</li> </ul>
	その他の特徴 コメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>×：宿泊、料飲共に大幅な売上減で、営業しているだけで赤字と言わざるを得ない現状である。固定費以外の経費を調整しているが、非常に厳しい（都市型ホテル）。</li> <li>×：クライアントのイベント、販促がほぼなくなり、広告出稿が止まっている。前年比8割減となっており、危機的状況である（広告代理店）。</li> </ul>
先行き	分野	判断	判断の理由
	家計 動向 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言が解除されても、当面は旅行やレジャー控えが想定され、従来のような来園者数は期待できない（テーマパーク）。</li> <li>・身の回りではプラスになる話題はほとんどない。新型コロナウイルスの影響で、じわじわと低迷しており、身に迫ってくるようである（自動車備品販売店）。</li> </ul>
	企業 動向 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの収束が見えないため、今後も作業の延期や中止が大いに見込まれる。取引先の経営状況の悪化も予想されるため、長年の取引でも縮小や解消等、売上のマイナス要因が多い（不動産業）。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響が、まだしばらくは続くともみている（その他製造業 [ 消防用品 ]）。</li> </ul>
	雇用 関連	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早く新型コロナウイルスが収束しないと仕事が安定しないので、困っている（人材派遣会社）。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言が、今後いつ解除され、経済が安定するか心配である（学校 [ 専門学校 ]）。</li> </ul>
その他の特徴 コメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>×：今はただじっと新型コロナウイルスが過ぎ去るのを待つだけである。スタッフの給与は持ち出しでしのぐが、専従者までは回らない（美容室）。</li> <li>×：今のところ生産はしているが、今後6～7月辺りには全く生産ができなくなるほど受注が極端に落ち、かなり厳しくなる。営業が仕事を取りに全く回れないので、受注がどんどん減っている（電気機械器具製造業）。</li> </ul>	

(D I) 現状・先行き判断D I（北関東）の推移（季節調整値）

